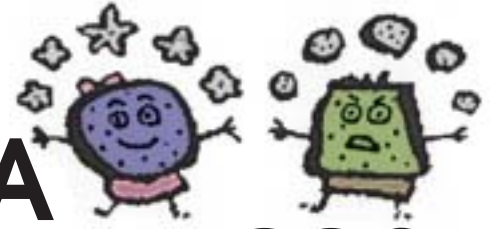




いよせき倶楽部

C&A
Communication & Answer



第220号

いよせき株式会社 〒793-0003 愛媛県西条市西ひうち3-21 Tel. 0897-55-1414 Fax. 0897-56-1454 E-mail: info@iyoseki.co.jp

石の豆知識

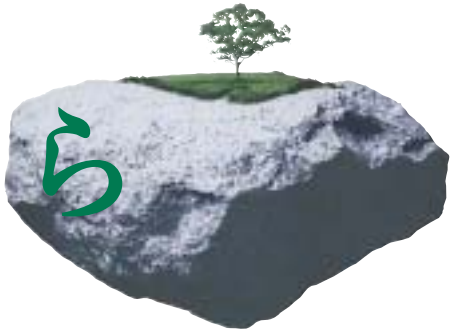
『和霊神社』

愛媛県宇和島市の中心部にあり、漁業を中心に広く産業の神として、中四国で崇められている和霊信仰。その総本山といえるのが、この和霊神社です。



この神社の正面には、石造りでは日本一の大きさ（約15m）といわれる大鳥居が空に向かってそびえ立っています。この鳥居は昭和13年建立、庵治石で作られています。継ぎ目のない一つ石で作られているのを見ても当時の和霊神社に対する信仰の深さが伺えます。
〔伊藤拓司〕

石のこれから



■千手観音

日本語では「十一面千手観音」、「千手千眼観音」、「千手千臂」等様々な呼び方がある。「千手千眼」の名は、千本の手にそれぞれの掌に一眼を持つとされている事からきている。六観音の一尊としては、六道のうち餓鬼道を摂化するという。また地獄の苦悩を済渡するともいい、一切衆生を済度するに、無礙の大用ある事を表して諸願成就・産生平穩を司るといふ。

千手観音の造像例はインドにはほとんど知られていないが、中国では唐代の龍門石窟等に遺例がある。日本での千手観音信仰の開始は古く、空海が正統密教を伝える以前、奈良時代から造像が行われていた。東大寺には天平年間に千手堂が建てられた事が知られ、同寺の今は無い講堂にも千手観音像が安置されていた。
〔木村敏広〕

新製品

ガラスデザイン『夢恋墓』



■恋する女性のように、思い入れのあるお墓作りをされる方、その中の、ある女性の意見から構想されたお墓です。

ガラス部分は数々の受賞歴のある芸術家「田邊 菜子」氏デザインです。光の当たり方により様々な表情を見せます。ガラスと石に共通する、硬くて鋭いイメージを曲線を多く使い、柔らかく優しいイメージにデザインしました。風にはためく旗をモチーフとしており、故人の存在の証としていつまでもはためくお墓です。お墓本体の石は万成石を使っています。
〔神野浩二〕

石のこころ

『小豆島石』

瀬戸内海に浮かぶ小豆島の地質は、主に花崗岩から成り立っています。この小豆島の北東部で採石されているのが小豆島石。1583年に豊臣秀吉が初めて大阪城築城にかかった時、小豆島は豊臣方の領地だったため、加藤清正らによって採石されていました。その後、1620年に徳川家が大阪城を大改築した際、全島の各方面から七人の大名が大石を切り出し大阪に送っていました。

小豆島石は大阪城以外に、江戸城や江戸山王神社鳥居（笠井家文書）、皇居石橋（西丸大手橋）などに使用されています。〔藤原一恵〕



伊予青石物語



■青石の模様が綺麗なため、座敷に上がるための石をお願いしました。毎日見ますが、本当にきれいです。
（西条市K様）

さらに詳しい画像は当社ホームページへ →→→

永遠の念い

社長白木の



一月は愛媛県石材組合の新年会や石材技能検定などで、結構、毎週日曜日が埋まってしまっています。今年は、伝統的な行事である、ふいごまつりを再現いたしました。公共石材工事や愛媛大島ブランドの勉強会をしたり、技能検定の講習会などもあります。これも業界として良い商品やサービスをご提供しようという意識で取り組んでいます。石は生涯以上残るだけに、安いだけでなく、心に残るものを作り上げたいものです。技能検定はなかなか合格が難しく、大変ですが、それだけ価値のあるものだと思います。
白木秀典



Information

お知らせ

◆配送部では、現場施工・古墓の解体を行っております。
お客様のお手伝いの一環として、微力ながら励んでおります。何かございましたら、お気軽にお問い合わせください。
〔永易啓子〕